

金ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2022/10/31号

一般社団法人日本貴金属マーケット協会 池水雄一

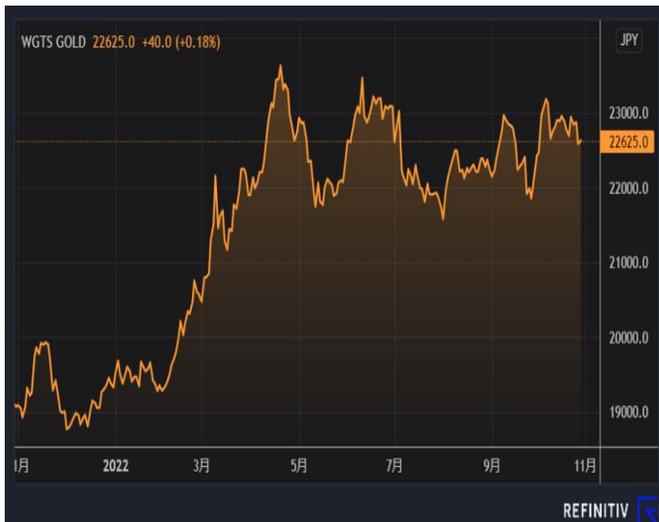


【ゴールドマーケットの現状】

GDP予想を上回りゴールドは1650ドル割れ

SPDR Gold Shares円建価格

ゴールドとドルインデックス



注目の米第3四半期GDPは二期連続のマイナス成長から一転、市場予想を上回る2.6%の成長となりました。金曜日のCPEはほぼ市場予想通りの数字だったとはいえインフレは継続して高い状況であり、FRBにとっては予定通りの金利上げを後押しする状況です。CME FedWatchでは、今週のFRBの金利上げは0.75%という見方が84%、12月は0.75%と0.5%という見方がほぼ50%づつとなっています。今週水曜日の11月の利上げは0.75%はほぼ確実とみられることでゴールドにとっては売り圧力が強くなりゴールドは1650ドルを割り込んで一週間が終わりました。1650ドルは重要なサポートとみられていただけにこの引けは気になるところです。しかしカナダの利上げ幅が0.5%に縮小されたこと、ECBは0.75%の利上げとなりましたが、その後の議長会見ではいくぶんハト派的側面がめだったこと、そしていくつかの経済指標が成長の減速をしめたこともあり、FRBがレート上げの速度を緩める可能性は皆無ではなく、もし今回のレート上げ後の議長会見でのニュアンスがハト派的になるとおそらくゴールドは大きく上昇することになると思います。0.75%はもはや織り込み済みですが、今後も引き続き金利上げを強く強調することになると、失望売りでゴールドは売られることになるでしょう。より多くのアナリストは現在の経済状況からFRBの金利上げのスピードを下げざるを得ないとみはじめており、ドル高、金利高、ゴールド安の流れもそう遠くない未来に反転するのではないかと思います。もし年内に1600ドルトライがあるとすればそこは絶好の拾い場になるのではないかと考えます。おそらくそこまで下げる前にインド、中国、トルコといったアジア・中東の現物買いがマーケットを支えると思いますが。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

金ETF証拠金取引|WEEKLY REPORT

【マーケット・トピック】

「米国インフレ抑制法案（IRA）とプラチナ1」

WPIC（World Platinum Investment Council）のレポートによると、水素プロジェクトにに対する大規模な政策的助成が増えつつあり、それがプラチナの需要にも影響を与えそうです。

Hydrogen Insights 2022というThe Hydrogen Council（水素委員会）のレポートによれば、2050年までに水素エネルギーによりゼロカーボン排出を実現するためには、現在の水素プロジェクトへの投資額を3倍にし、\$700billion（約101兆円）にする必要があるとしています。現状では2030年までのすでに発表されている投資額は\$240billion（約34.8兆円）であり、\$460billion（約66.7兆円）足りないという計算になります。

しかし、今年8月7日米国上院議院で「インフレ抑制法案（Inflation Reduction Act）」が可決されました。この法案により、今後10年の間に\$369billion（約53.5兆円）もの予算がエネルギーと気候変動に対する政策につぎ込まれることが決まり、クリーンエネルギーと電気自動車（EV）の導入プログラムに大きく資金的なサポートがされることになりました。この法案はグリーン水素にとってはゲームチェンジャーともなりえる大きな出来事であったと思われます。米国では1kgのグリーン水素に対して\$3の税金優遇が決定され、世界でもっとも価格競争力のあるグリーン水素であり、それに加えてこのIRAにより水素で走るFCEV（燃料電池車）を含むクリーン交通機関に対して多くの補助金が与えられることになりました。

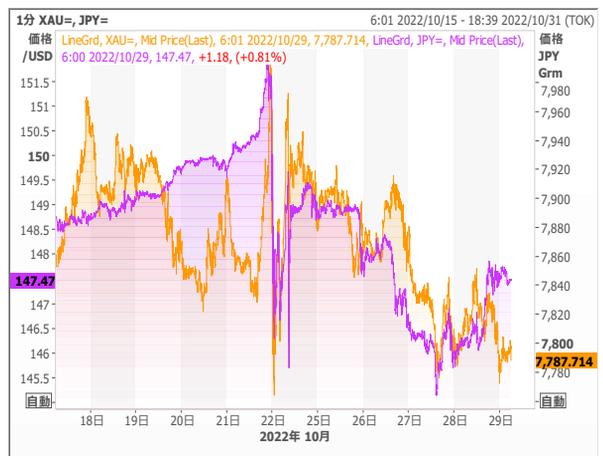
水素はそもそも地球上に最も豊富に存在する元素です。それはすでに燃料として使われており、炭素と違って排出物は水だけであるのでクリーンなエネルギーとして脱炭素の切り札として最も注目を浴びているエネルギー源であることは否定のしようがありません。しかし大事なのは、その水素を作り出す段階です。そのプロセスで化石燃料を使用していればそれはクリーンなエネルギーとは言えないということです。再生可能エネルギーを利用してグリーン水素を生み出すために、プラチナは重要な役割を担います。（続く）



Gold ETF残高とゴールド価格



米長期金利とゴールド



円建てゴールドとドル円

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所が一般社団法人日本貴金属マーケット協会から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、一般社団法人日本貴金属マーケット協会に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、一般社団法人日本貴金属マーケット協会（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 一般社団法人日本貴金属マーケット協会（Japan Bullion Market Association）

【所在地】 〒103-0016 東京都中央区日本橋富沢町11-15-503

【URL】 <http://jbma.net>

【E-mail】 info@jbma.net

池水雄一（いけみず・ゆういち）プロフィール

1962年生まれ兵庫県出身。1986年上智大学外国語学部英語学科卒業後、住友商事株式会社入社、その後1990年クレディ・スイス銀行、1992年より三井物産株式会社で貴金属チームリーダーを務める。2006年よりスタンダードバンク東京支店副支店長、2009年に同東京支店で支店長に就任。2019年9月より日本貴金属マーケット協会（JBMA）代表理事に就任。一貫して貴金属ディーリングに従事し、世界各国のプリオン（貴金属）ディーラーでブルース（池水氏のディーラー名）の名を知らない人はいない。

最新情報は
ツイッターで

